

# 中北地域での醸造用ブドウの生産と基盤整備



写真：北杜市明野町 天王原地区

## 中北地域で行われる果樹栽培

山梨県の名産品としてモモ、ブドウ、あるいはワインが挙げられ、県内各地でそれらの生産が行われています。県中西部に位置する中北地域でも古くから果樹が栽培されており、特に近年は原材料の安定供給のため、ワイン製造者による醸造用ブドウの自社栽培も広まっています。

## 農業の担い手としてのワイン製造者

醸造用ブドウの自社栽培が注目される背景には、国産ワインの人気の高まり等により原材料の需要が増加していることが挙げられます。

一方、農村では農業従事者の高齢化や減少といった課題を抱えており、荒廃農地や後継者のいない農地が増加しています。企業が荒廃農地等を活用して農業の担い手となることで、農村が抱えるこれらの課題を解決し、新たな雇用も生まれ地域の活性化につながることを期待されます。

## 企業参入と基盤整備

旧来からのブドウの名産地である峡東地域では醸造用ブドウの生産を行う農地の確保が難しくなりつつある現状があります。また今後地球温暖化が進行した場合を考慮し、標高の高い農地が求められる事例もあります。

このような背景から峡東地域に加えて中北地域でも荒廃農地で基盤整備を行い、醸造用ブドウを栽培する事例が多くあります。企業の参入の際には、県や市町村等がマッチングを行い、企業が求める農地の供給と荒廃農地の解消を図っています。

## 農業生産における山梨県のアピールポイント！！

- 非常に長い日照時間！  
→山梨県は全国的に長い日照時間を誇ります。
- 大消費地に近い！  
→東京から近いのはもちろんのこと、本州のほぼ中央に位置することから、名古屋や大阪へのアクセスも良好です。
- 地下水が豊富！  
→美しい山々に育まれた上質で豊かな水に恵まれています。
- ワインや果樹におけるブランドイメージ！  
→言うまでもなし！！



南アルプス西部地区



天王原地区（北杜市）



茅ヶ岳西麓地区（北杜市）

# 企業とのマッチングによる 荒廃農地解消の事例

## 北杜市明野町天王原地区



天王原地区では荒廃農地となっていた桑園が区画整理により大規模に整備されたほ場に生まれ変わり、山梨県のワイン生産を支える醸造ブドウの生産地となりました。

所有者の異なる農地、非農地が不規則に混在していました。



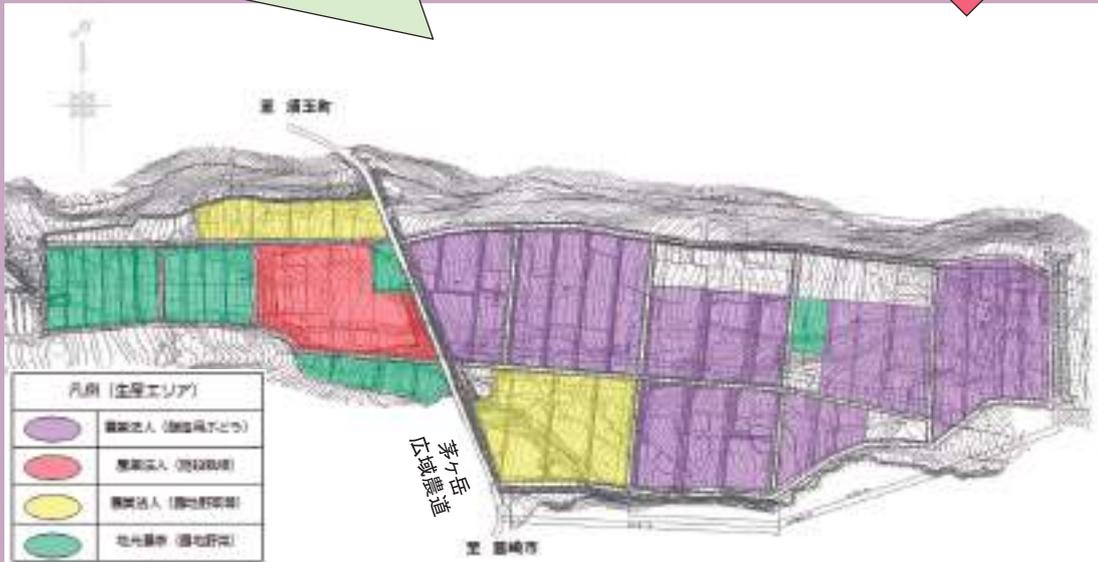
整備前の区画の配置図。不整形で小規模なほ場が並んでいました。

事業前の地区内では桑園が耕作放棄地となり、農地の荒廃が多く見られました。



農地の区画整理に当たり、「換地」という手続きが行われ、散在するほ場の権利関係の整理が行われます。整備後は生産する作物ごとに農地をまとめて団地化がされました。

整備されたほ場では垣根栽培による醸造用ブドウの生産が行われています。



区画整理の結果、形状が良く農作業のしやすい大規模な農地に生まれ変わりました。



**末永く利用される農地を  
目指して**

事業実施前の農地は不整形地や狭小地、あるいは道路との接続のない場所が多く、条件が決してよいものではありませんでした。条件の悪い農地は耕作放棄されやすく、また新たな耕作者を探す際にも支障となります。農地が末永く維持されることを考えて、営農事業にて区画整理や水路・鳥獣害防止施設の整備が行われました。

現在、天王原地区では醸造用ブドウを栽培するワイン製造者をはじめとした大規模経営体や以前の耕作者が、整備された使い勝手の良いほ場で営農を続けています。

**地元の思いと企業の需要  
のマッチング**

北杜市明野町の北部に位置する天王原地区はかつて養蚕業が盛んで、地区内には桑畑が広がっていました。しかし、養蚕業の衰退とともに荒れた桑畑が放置されるようになり、地元農家にはこの状況を解消したいとの思いがありました。一方で営農を行う企業の中には新たな農地を求める需要があり、これらがマッチングして、区画整理を含む土地改良事業を行うこととなりました。